

産業ニュース EVシフトで恩恵を受ける電子部品企業

作成者:村上大志

EVへの注目度が高まる

7日に閉幕したテクノロジー見本市「CES (コンシューマー・エレクトロニクス・ショー) 2022」では、EV (電気自動車) や自動運転などの発表が相次ぎ、**ソニーG (6758)** がEVの市場投入を本格的に検討すると表明。EV市場は既存の自動車メーカーに加え、テスラ (米国) などのスタートアップ企業や、ソニーGなどの異業種参入で競争が激化している。EVへの注目度が高まる中、今回の産業ニュースでは、EVシフトで恩恵を受ける電子部品企業をまとめてみた。

パワートレイン周りに注目

EVでは、自動車のパワートレイン (動力装置) であるエンジンそのものを置き換えていくため、バッテリーやモータ、電力変換器のインバータなどがキーコンポーネントとなる。**日電産 (6594)** は、モータ・インバータ・減速機が一体となったEV用トラクションモータシステム「E-Axle (イーアクスル)」を供給しており、同システムを供給する部品メーカーとしては世界トップクラスの実績を誇る。22. 3期・第2四半期決算説明会では、中国、欧州を中心に同システムの販売先が拡大しているとのことで、26. 3期の販売台数予測を280万台から350万台に上方修正した。車載向けコネクタのリーディングカンパニーの**イリソ電子 (6908)** は、独自のフローティング技術を採用した耐振動性、耐衝撃性に優れたパワートレイン向けコネクタの需要が増加している。パワートレイン周辺にコネクタを供給できるメーカーは限られており、フローティング技術に強みを持つ同社のコネクタは特に中国向けで採用が拡大している。パワートレイン周りではこのほか、インバータに使用されるフィルムコンデンサの需要が国内外で増加している**ニチコン (6996)** や、従来のSi (シリコン) よりも高耐圧かつ低損失を実現可能なSiC (シリコンカーバイド) を使用したパワーデバイスを提供する**ローム (6963)** などが挙げられる。

搭載点数が増加傾向にあるMLCC

自動車向けで搭載点数が増加傾向にあるMLCC (積層セラミックコンデンサー) にも注目したい。MLCCは、電圧を安定させノイズを除去する電子部品で電子機器には欠かせない部品となっており、自動車分野ではパワートレイン向けに加え、ADAS (先進運転支援システム) など自動車の電装化進展で搭載点数が増加している。世界シェアトップで、車載向けで最小サイズのMLCCを提供する**村田製 (6981)** や、高温高湿や熱衝撃に耐え高い信頼性を持つMLCCを供給する**太陽誘電 (6976)**、車載用電子制御ユニット周辺で小型大容量のMLCCを市場に投入している**TDK (6762)** などが挙げられる。EVシフトが加速する中、車載向け電子部品は需要の増加が予想されることから、関連企業に注目したい。

◇関連銘柄の株価、予想PER、コメント等

(単位: 円、倍)

銘柄名	コード	株価 (1/7)	予想 PER	コメント等
日電産	6594	12,915	51.0	トラクションモータの販売台数予測を上方修正
TDK	6762	4,510	15.5	車載用向けに小型大容量のMLCCを市場に投入
イリソ電子	6908	4,410	21.6	中国でパワートレイン向けコネクタの需要が増加
ローム	6963	10,550	20.3	高耐圧かつ低損失なSiCパワーデバイスを提供
太陽誘電	6976	6,700	17.5	車載向けで信頼性の高いMLCCを供給
村田製	6981	9,185	21.7	車載向けで最小サイズのMLCCを提供
ニチコン	6996	1,271	18.5	インバータ向けフィルムコンデンサを提供

(注) 予想PERは今期会社予想

(出所) CAM作成